

# 長期時系列調査で読み解く「生活者」の変化

ひらけ、みらい。



生活総研

2022年6月9日

博報堂生活総合研究所 石寺修三



# 生活定点 1992-2020

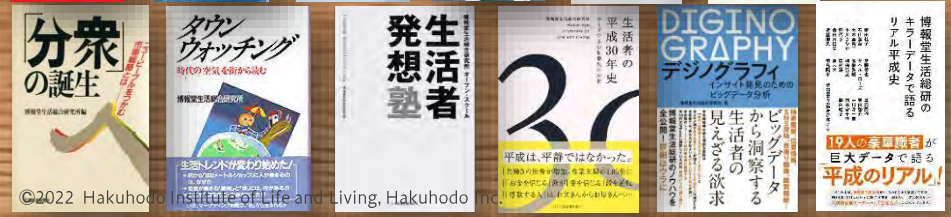
CHRONOLOGICAL LIFESTYLE SURVEY ON THE JAPANESE PEOPLE

博報堂生活総研による2年に1度の定点調査  
28年分の生活者観測データ約1,400項目を無償公開中

## 博報堂生活総合研究所

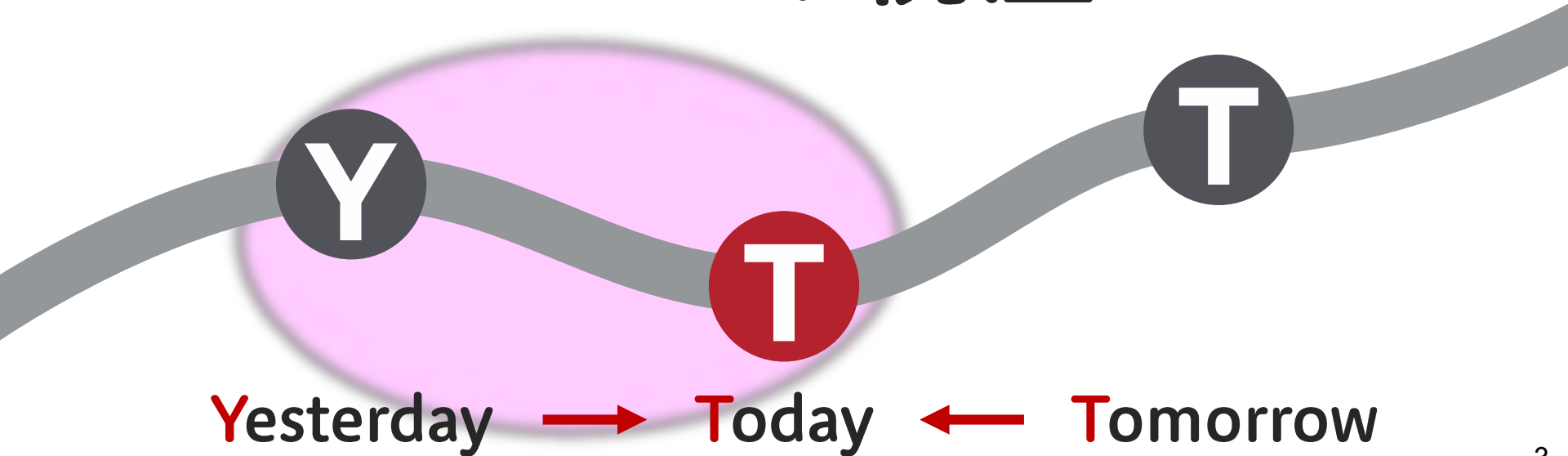
### 設立：1981年

## 生活者研究に特化した 日本初のシンクタンク

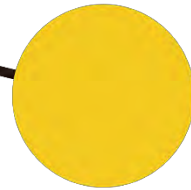


「今」を読み解くのに必要な

# YTTの視座



# 生活総研の基幹調査「生活定点」



生活定点

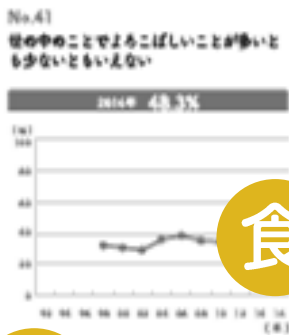
1992-2020

CHRONOLOGICAL LIFESTYLE SURVEY ON THE JAPANESE PEOPLE

# 同じ時期・地域・属性の生活者に 同じ質問約1,400項目を28年間



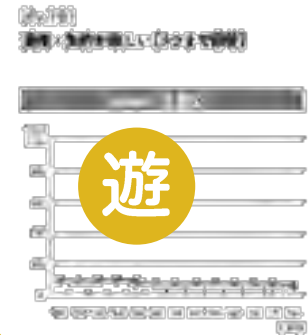
住



食



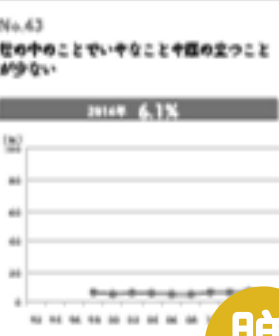
家



遊



動



衣



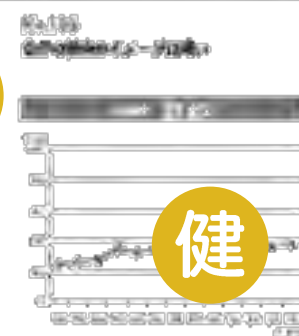
交



愛



知



健

贈

育

国



# 調査設計

- 調査地域：首都40km圏 阪神30km圏
- 調査対象：20～69歳の男女
- 調査手法：調査員による訪問留め置き法
- 調査人数：2,597人(2020年) ※同規模で毎回実施  
2015年国勢調査に基づく人口構成比で割付
- 時期：1992年から隔年の5月(2020年のみ6月末～7月実施)



# 本日のアジェンダ



Part-1 : 1992-2018  
長期スパンでみる生活者潮流



Part-2 : 2018-2020  
短期スパンでみるコロナ禍インパクト



Part-1 : 1992-2018

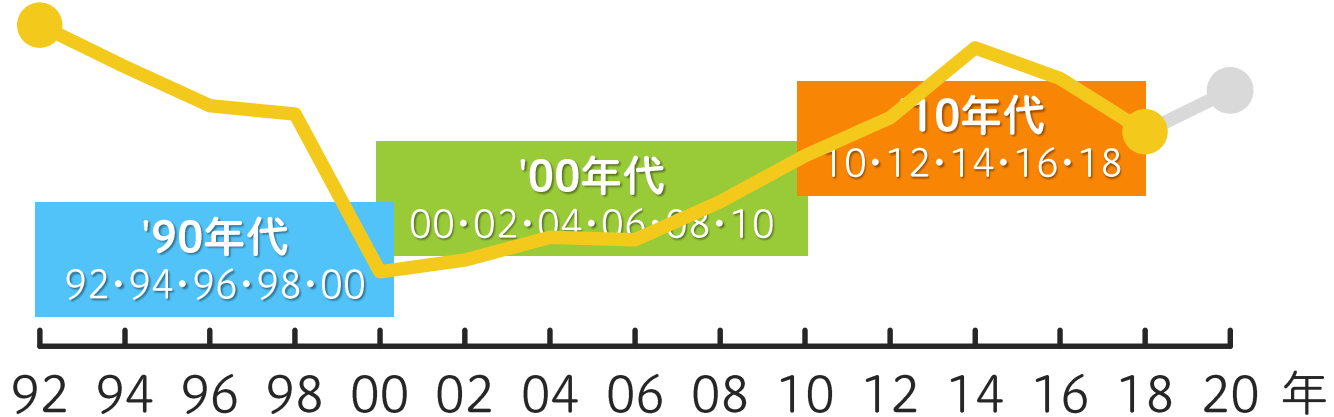
# 長期スパンでみる 生活者潮流

コロナ禍前までの生活者の意識/ライフスタイルの流れ



# 第一部の分析視点

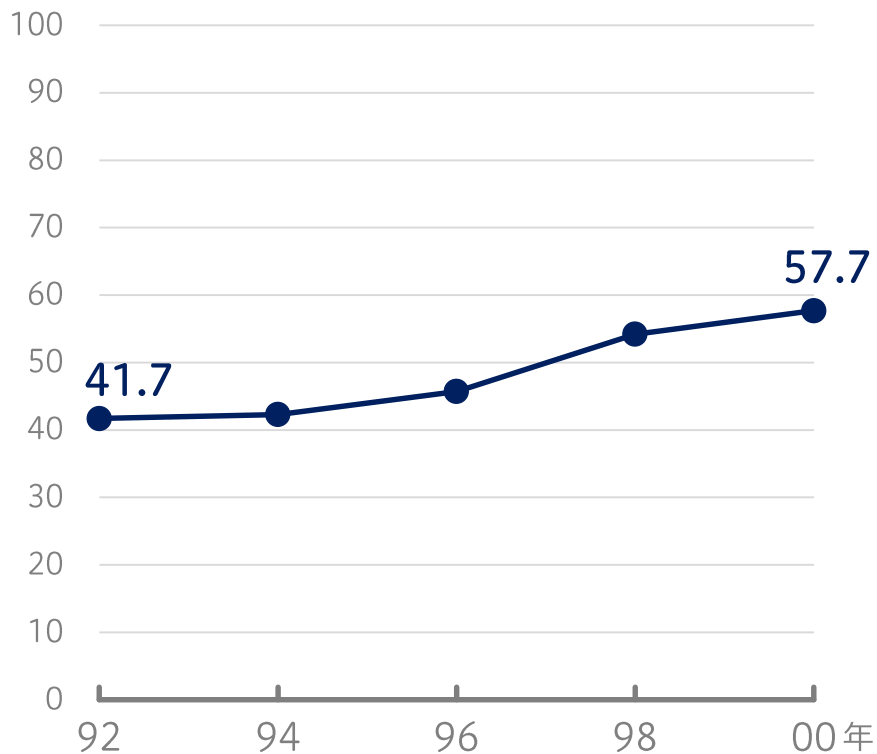
時代の変化と共に  
約30年間の生活者潮流をみる



# '90年代に特徴的な変化

'90年代

# 実感する変化の多さ



今の世の中は変化が多すぎると思う

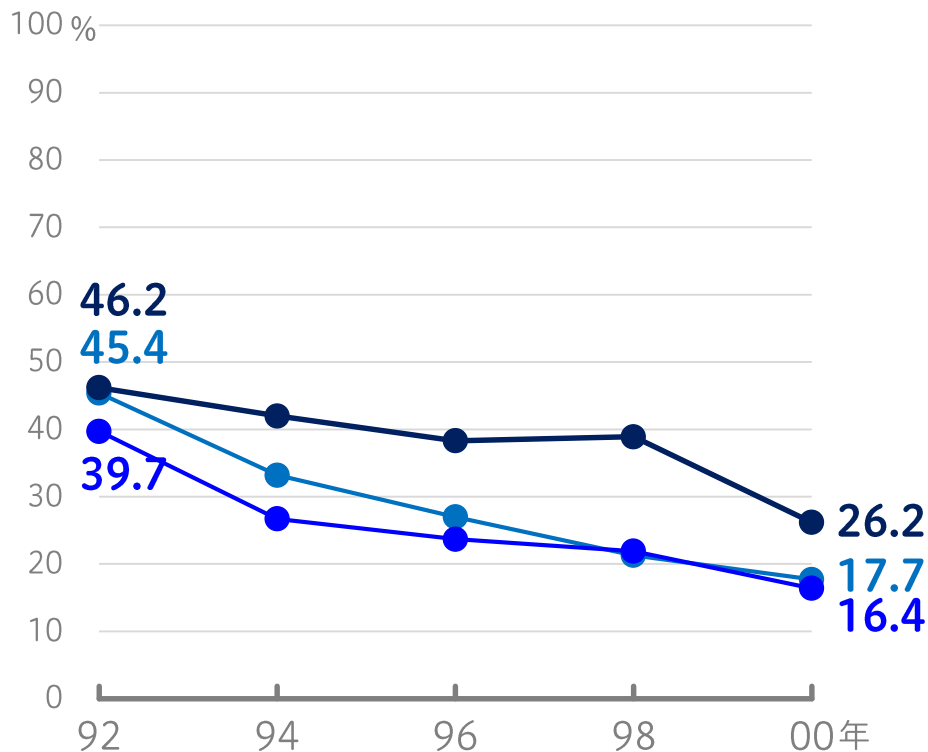
+16.0pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

バブル崩壊(92) 山一・拓銀破たん(97) 地下鉄サリン事件／阪神・淡路大震災(95) 日本版金融ビックバン(98)

'90年代

# 「日本の誇り」喪失



高い教育水準は日本の誇りだと思う

-20.0pt

経済的繁栄は日本の誇りだと思う

-27.7pt

社会の安定は日本の誇りだと思う

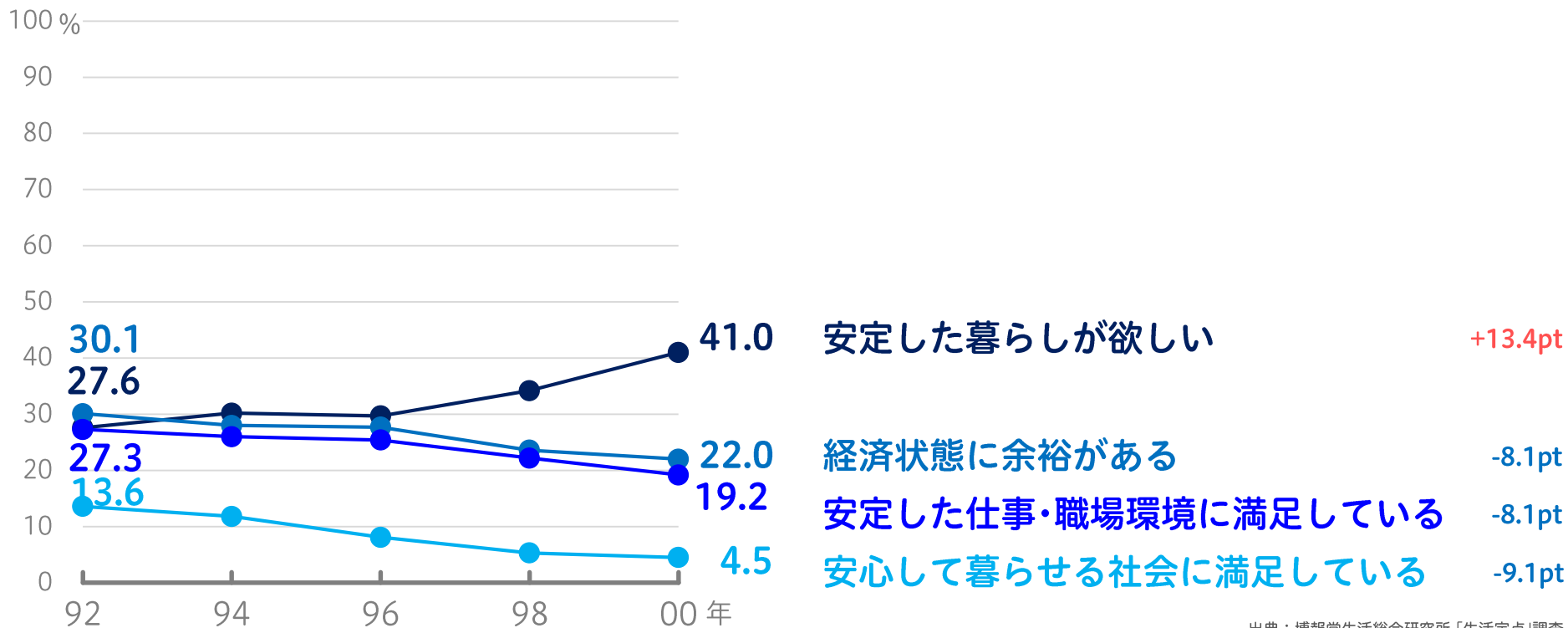
-23.3pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

バブル崩壊(92) 山一・拓銀破たん(97) 日本版金融ビッグバン(98)

'90年代

# 日本の「安定神話」崩壊



出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

企業倒産件数の増加(97) 雇用者報酬の低下が始まる (98)

# '90年代に特徴的な変化

- ✓ 実感する変化の多さ
- ✓ 「日本の誇り」喪失
- ✓ 日本の「安定神話」崩壊・・・

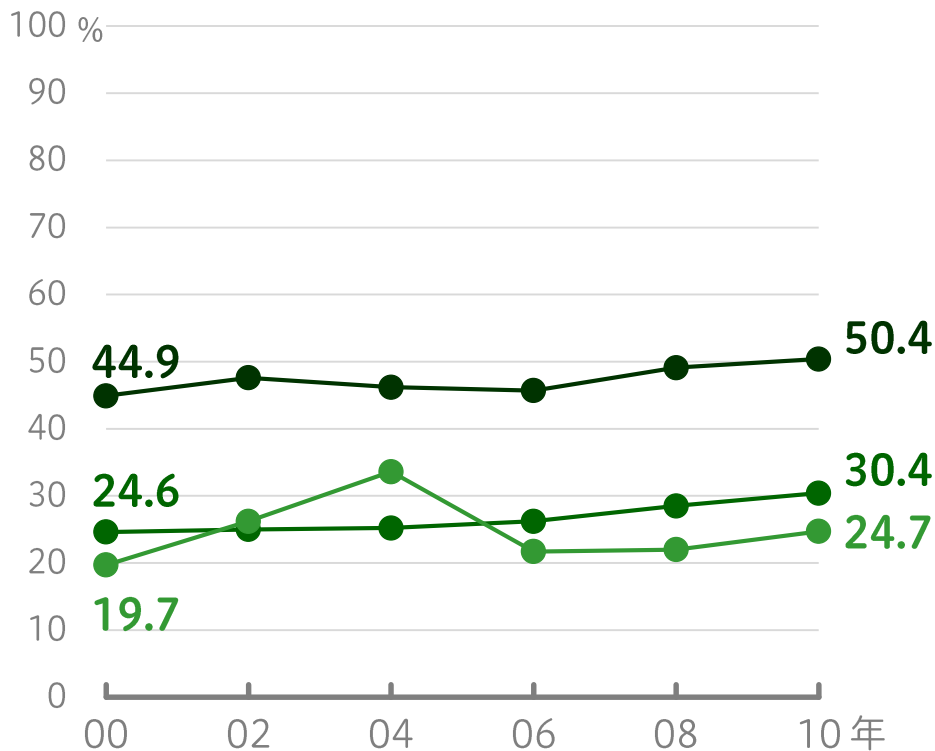


## 「喪失」の10年

バブル崩壊や震災などを経て、国や社会  
そして自分にも自信が持てなくなった

# '00年代に特徴的な変化

# 望むのは生活の地固め



同じ会社で仕事を続けたい +5.5pt

仕事をするなら、やりがいよりも安定で仕事をしたい +5.8pt

フルタイム(正社員)として働きたい +5.0pt

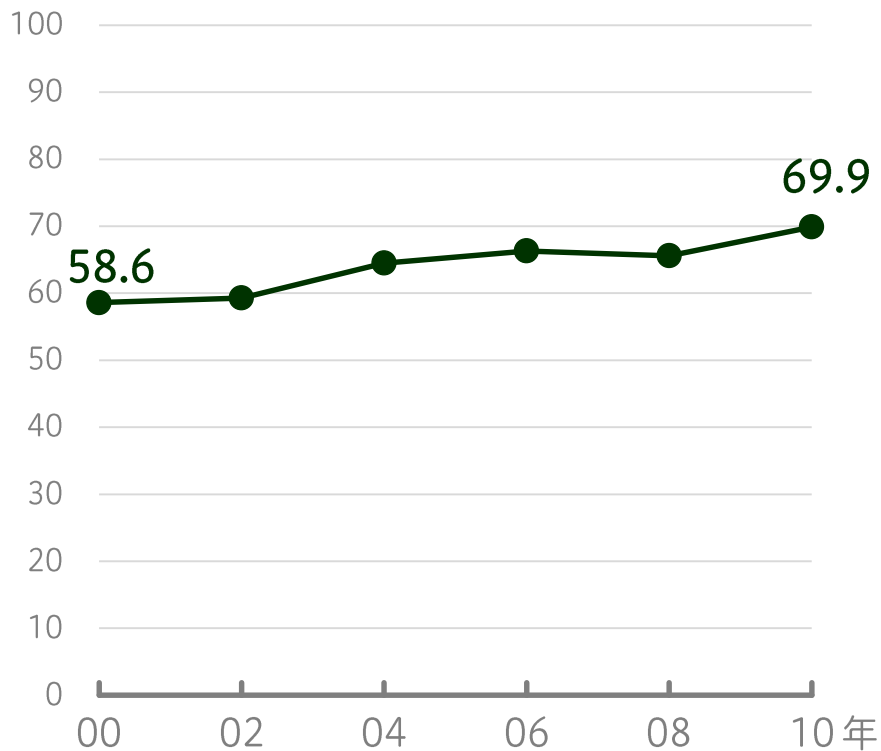
出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

就職氷河期のピーク(03) 完全失業率10.1%(03) 格差社会が問題化(06)



'00年代

# 日本の利益がまず大事

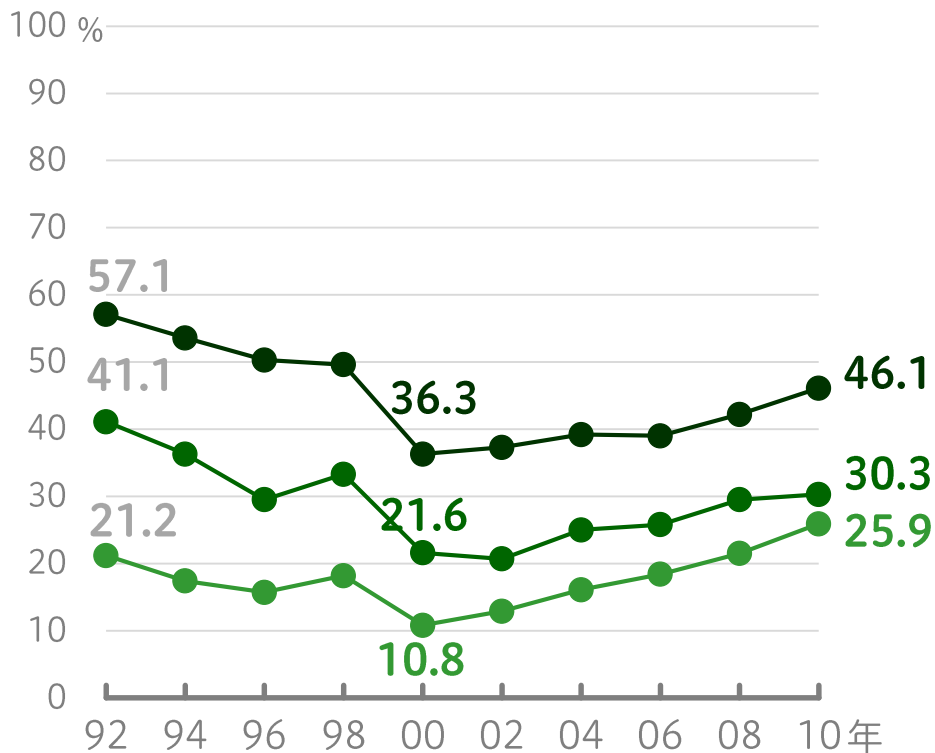


世界への貢献より  
日本の利益を第一に考えるべきだと思う 11.3pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

リーマンショック・世界同時不況(08)

# 失われた「日本の誇り」回復



国民の勤勉さ・才能は日本の誇りだと思う +9.8pt

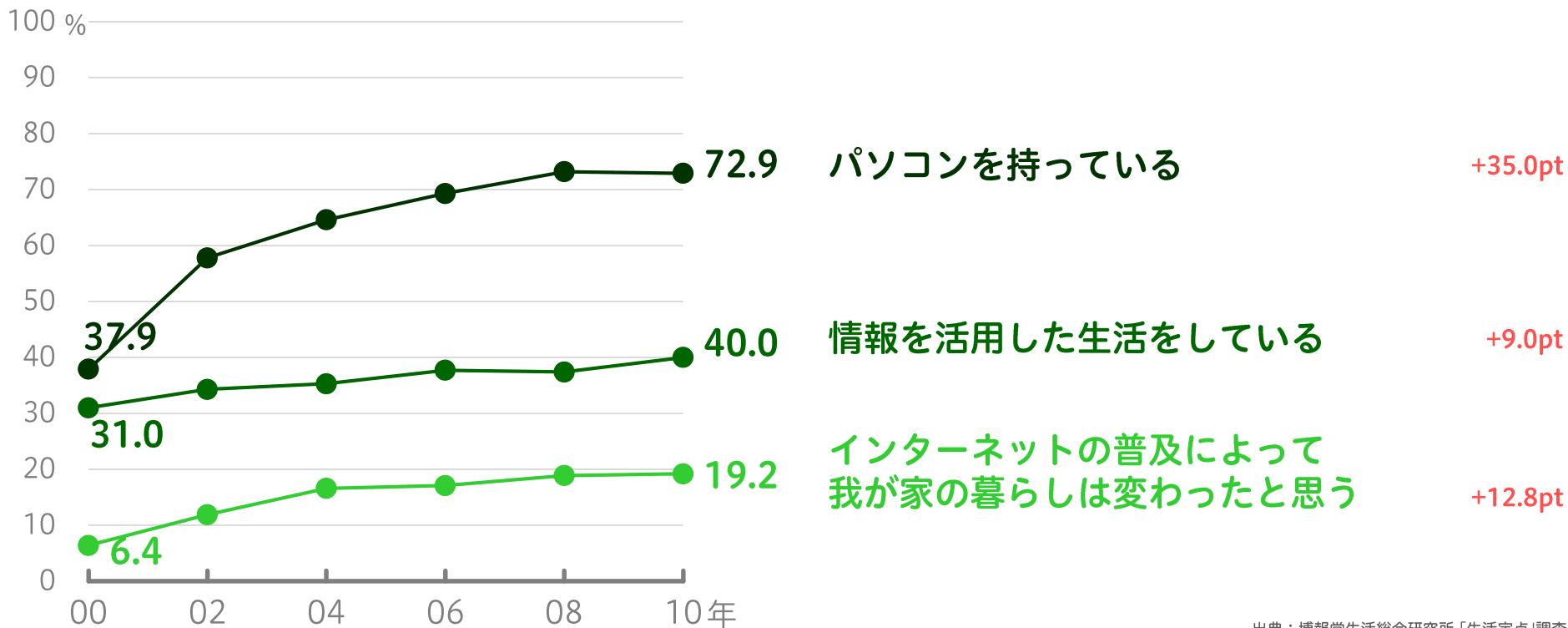
高い科学技術は日本の誇りだと思う +8.7pt

質の高いサービスは日本の誇りだと思う +15.1pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

日韓ワールドカップ開催(02) アテネオリンピックで日本人金メダル16個獲得(04) 日本人4人同時ノーベル賞受賞(08)

# 高まる情報リタラシー



出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

Windows95発売(95) メーカーが相次ぎノート型PC発売 (00)

# '00年代に特徴的な変化

- ✓ 望むのは生活の地固め
- ✓ 日本の利益がまず大事
- ✓ 失われた「日本の誇り」回復
- ✓ 高まる情報リテラシー…

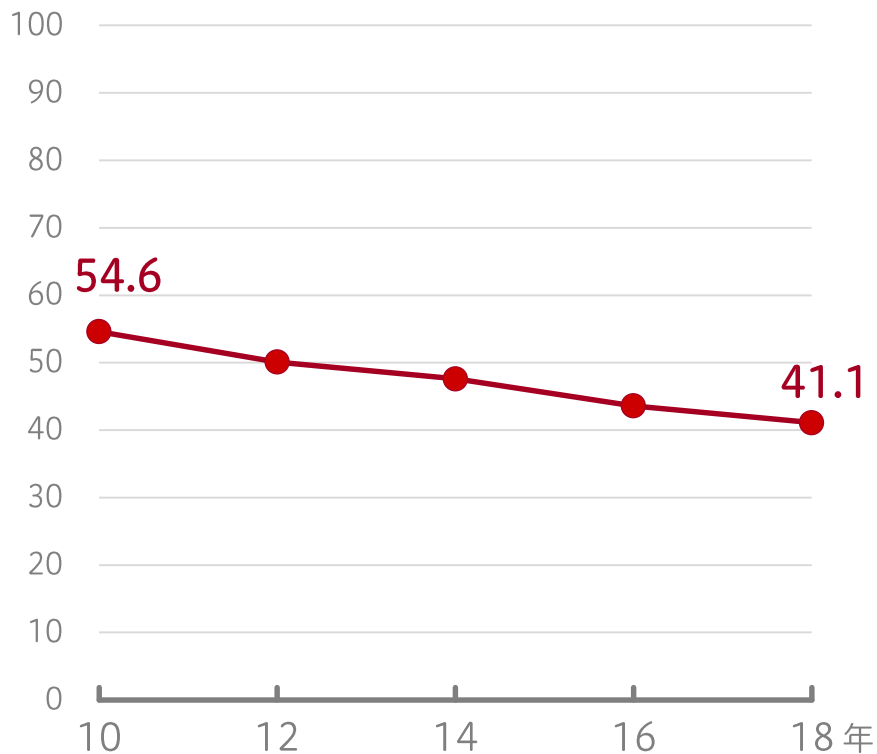


## 「模索」の10年

国への誇りと関心を取り戻しながら  
生活の地固めを図り、安定を掴もうとした

# '10年代に特徴的な変化

# 変化過多で変化慣れ



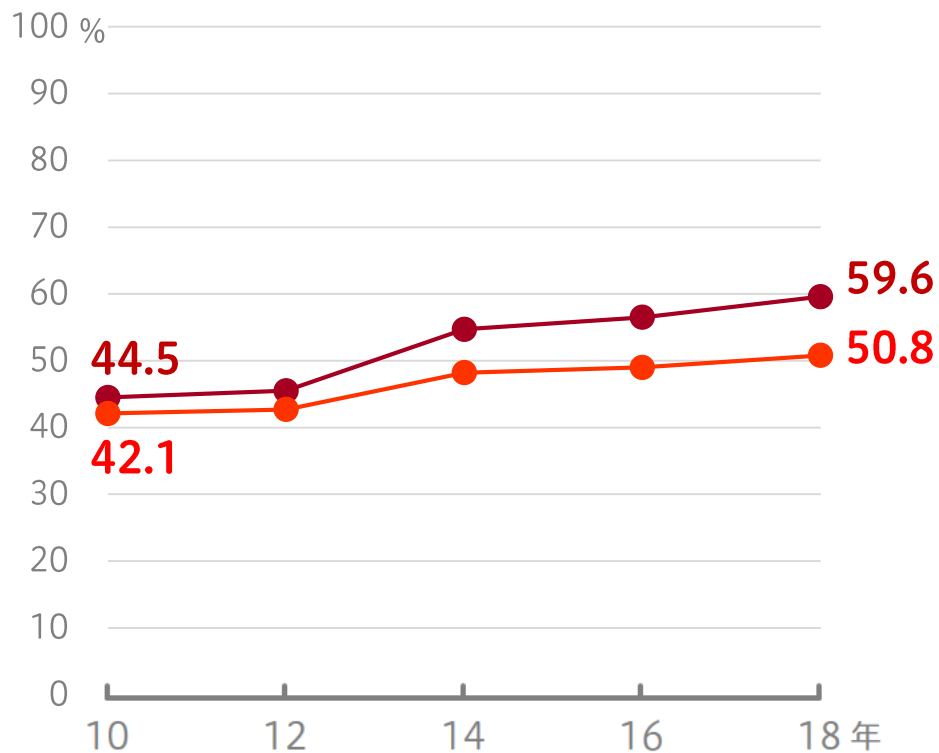
今の世の中は変化が多すぎると思う

-13.5pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

GDP中国に抜かれる(10) 東日本大震災(11) 広島集中豪雨・御嶽山噴火(15)

# 変わらない世の中



これからの世の中はこのまま変わらないと思う

+15.1pt

自分の暮らし向きは

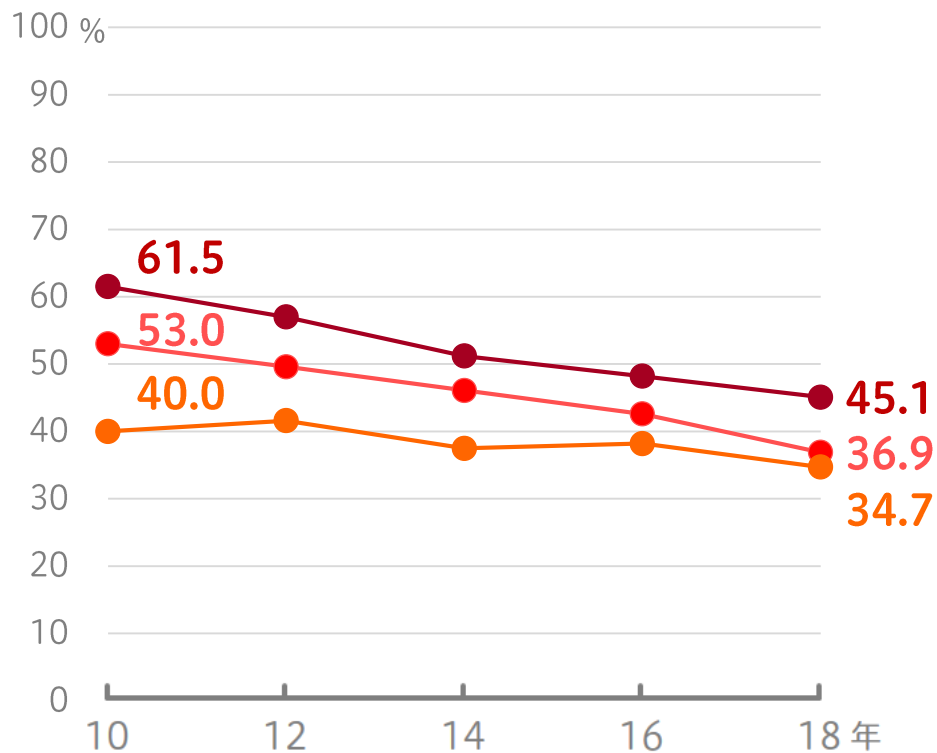
これからも同じようなものだと思う

+8.7pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

'10年代

# 世の中への関心が希薄に



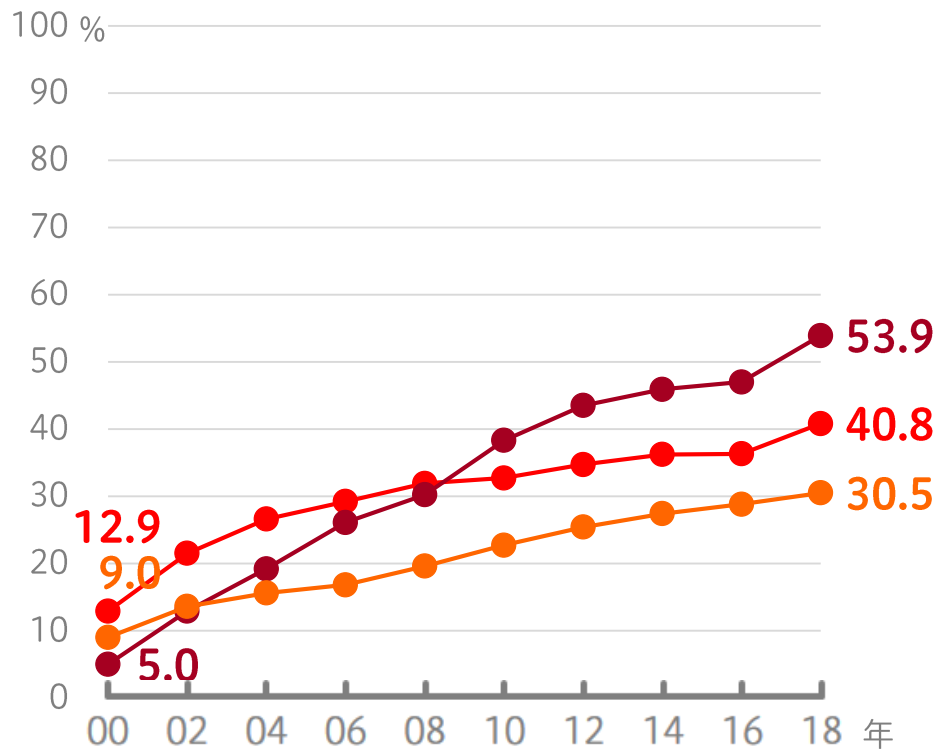
地球環境の保護について考えている -16.4pt  
経済動向・景気の情報に関心がある -16.1pt  
何か社会のために役立つことをしたいと思う -5.3pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

GDP中国に抜かれる(10) 尖閣諸島問題以降日中関係悪化(10) 東日本大震災(11) 広島集中豪雨・御嶽山噴火(15)



# 進む快適生活のインフラ整備



1年以内にオンラインショッピング  
(インターネットなど)で買い物をした  
インターネットによって自分の生活は  
豊かになったと思う  
インターネットで仕事を探そうと  
思ったことがある

+48.9pt

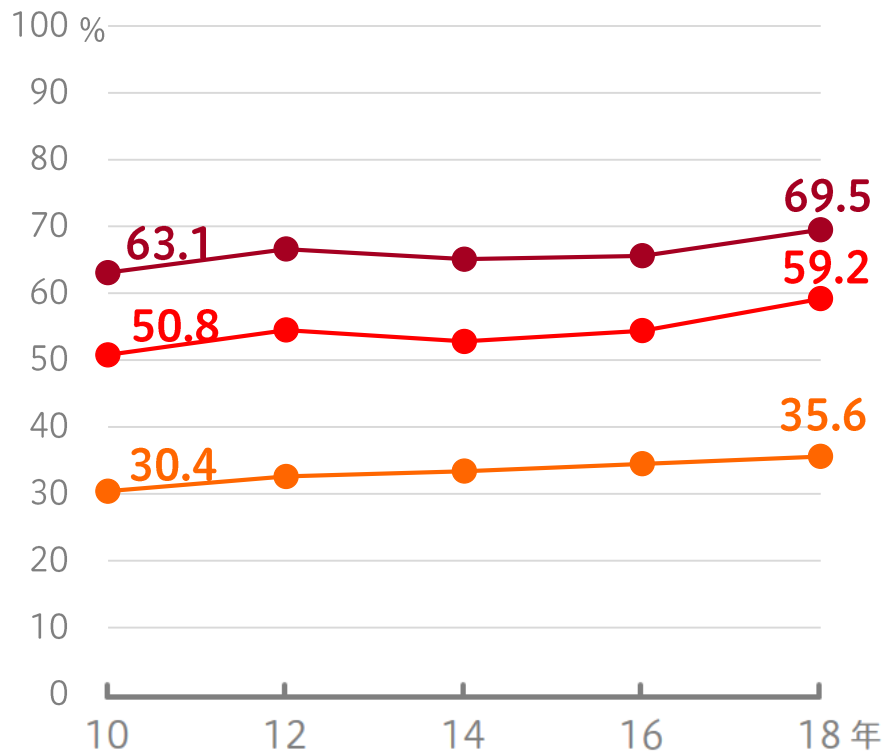
+27.9pt

+21.5pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

ECサイトが相次ぎサービス開始 (98) SNS普及開始(04) スマホ本格普及(08)

# 自分の生活は満足



現在の生活に満足している

+6.4pt

自分の生活は豊かな方だ

+8.4pt

身の周りではよろこばしいことが多い

+5.2pt

出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査

# '10年代に特徴的な変化

- ✓ 変化過多で変化慣れ
- ✓ 進む快適生活のインフラ整備
- ✓ 変わらない世の中
- ✓ 自分の生活は満足・・・
- ✓ 世の中への関心が希薄に



## 「自足」の10年

何も変わらない現実を受け容れ  
社会と自分を切り離して小さな幸せを求めだした

# 30年間の生活者潮流

1990年代

「喪失」  
の10年

2000年代

「模索」  
の10年

2010年代

「自足」  
の10年

?

この流れは  
コロナ禍によって  
どう変わったのか？



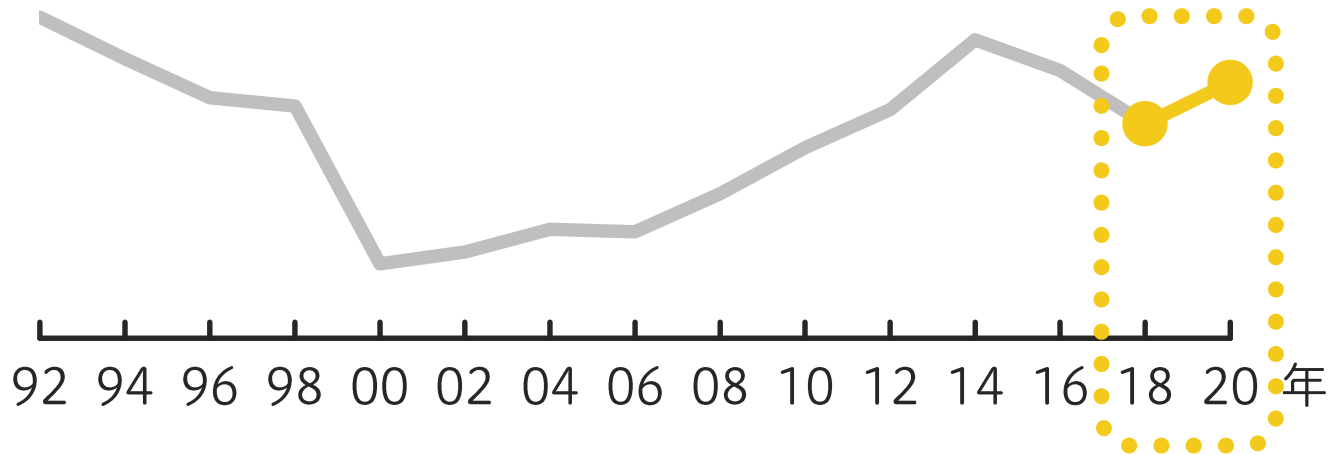
Part- 2 : 2018-2020

# 短期スパンでみる コロナ禍インパクト

コロナ禍がもたらした生活者の意識/ライフスタイルの変化

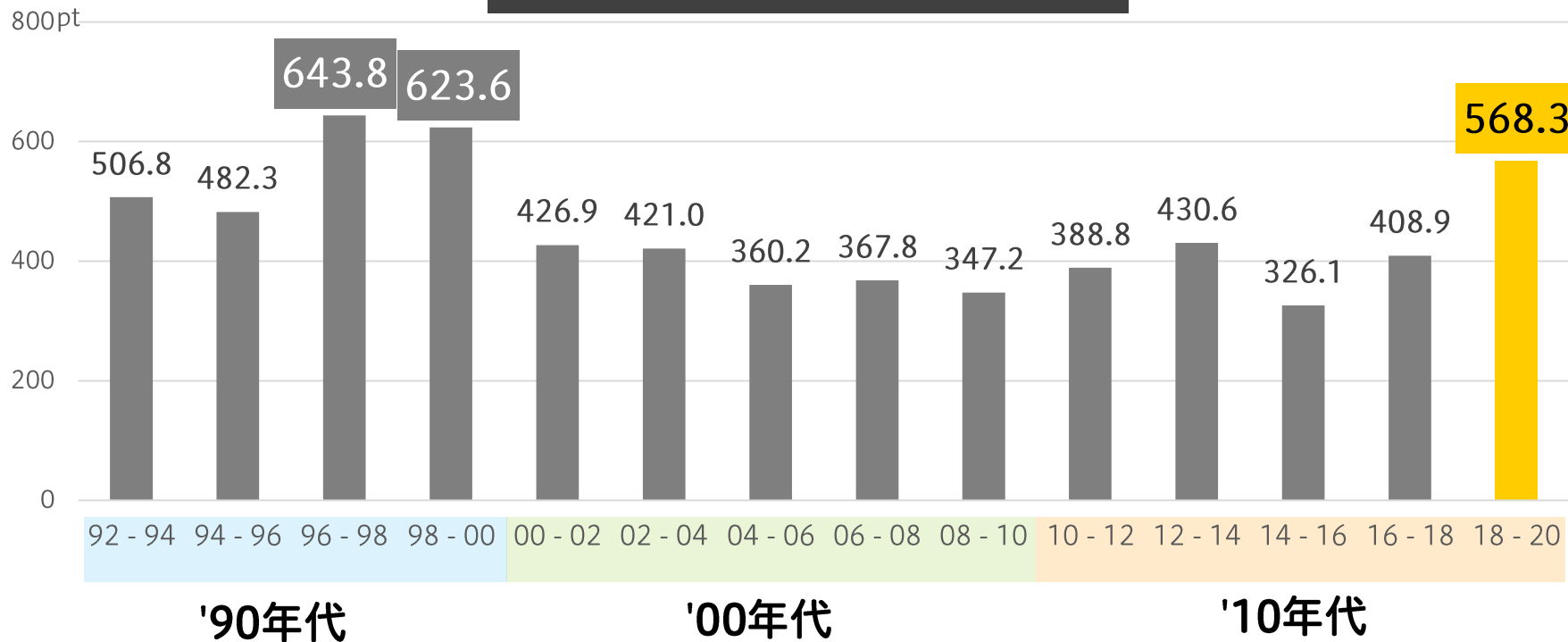
# 第二部の分析視点

2018～2020年の変化に注目し  
コロナ禍インパクトをみる

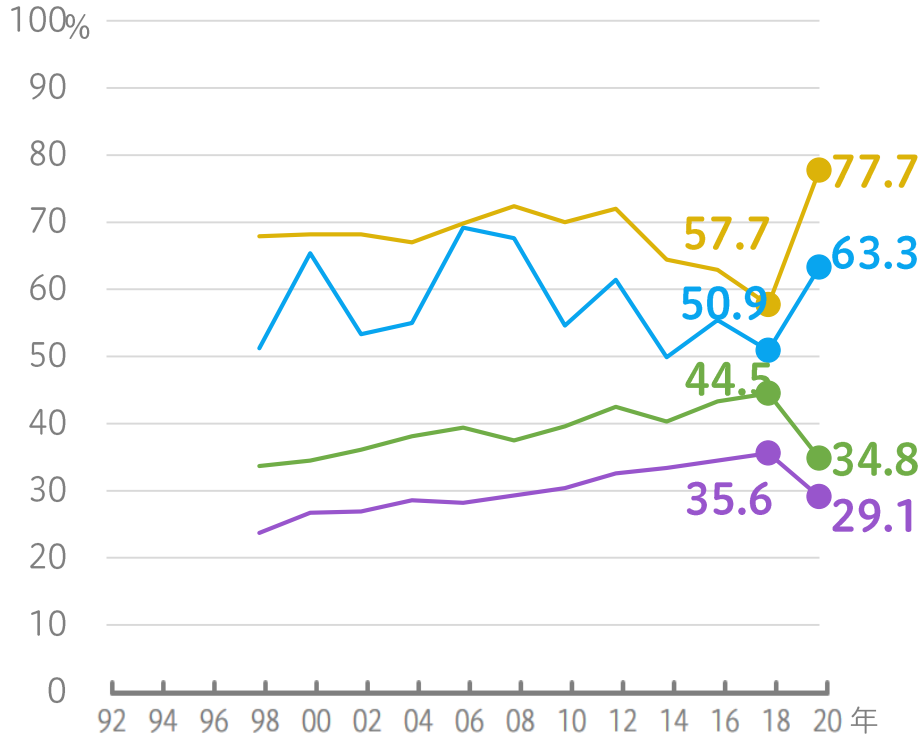


# コロナ禍がもたらした変化量は、過去20年間で最大

## 隔年ごとの調査項目の変化総量



# 悲観へ一転



世の中のことで気がかりなこと・不安なことが多い

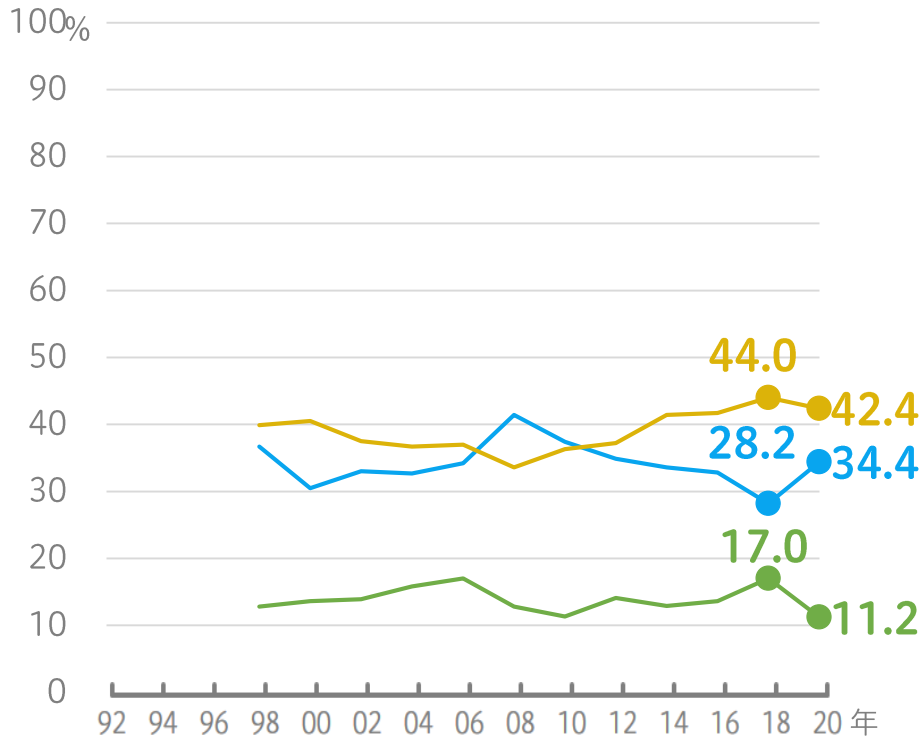
世の中のことで悲しいことが多い

身の周りで楽しいことが多い

身の周りでよろこばしいことが多い



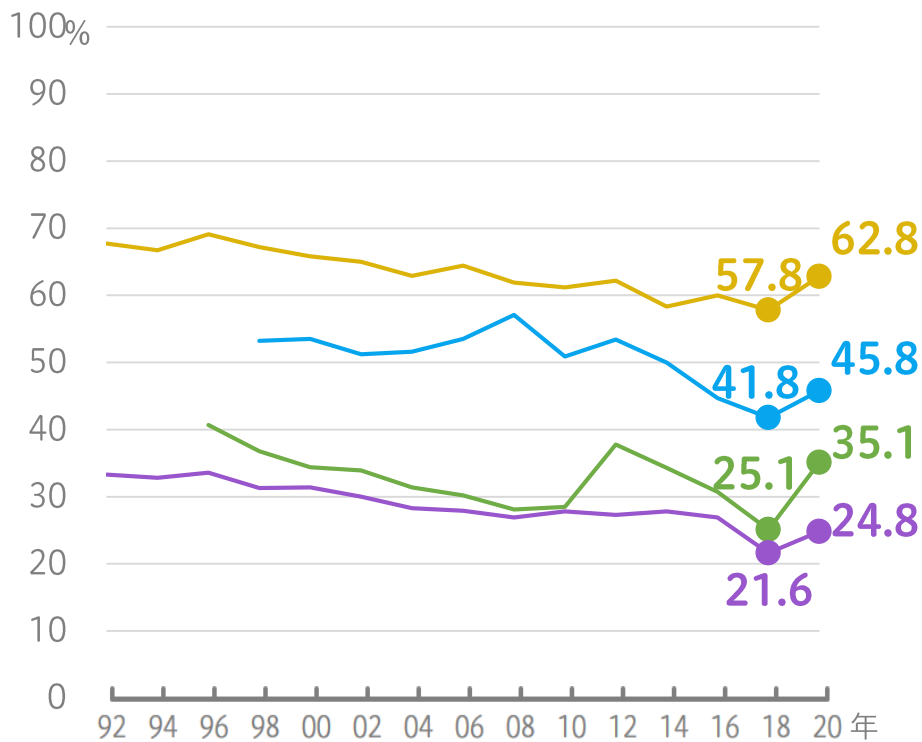
# 家計の先行きは不透明



今後の自分の経済状態は変わらないと思う  
今後の自分の経済状態は苦しくなると思う

今後の自分の経済状態は楽になると思う

# リスク管理意識の浮上



健康に気をつけた生活をしている

耐震構造など災害に対応した設備を充実させたい

事故や災害に備えた生活をしている

老後のことを考えた生活をしている

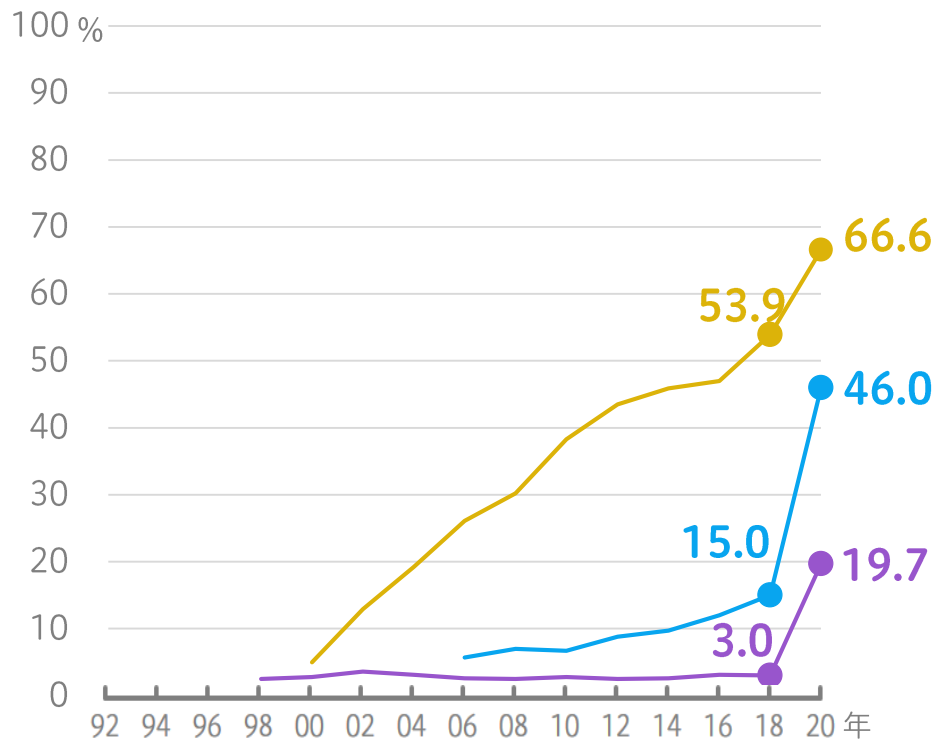
# 環境の認識

- ✓ 悲観へ一転
- ✓ 先行きは不透明
- ✓ リスク管理意識の浮上・・・



「世の中は変わりうる」意識の覚醒

# リモートライフの加速

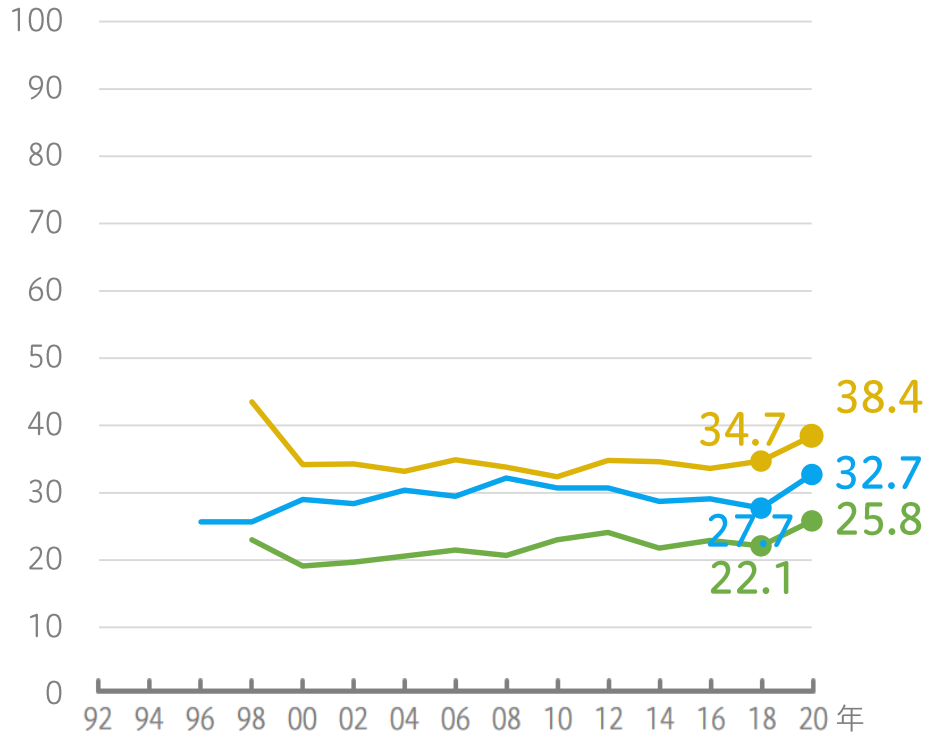


1年以内にオンラインショッピング  
(インターネットなど)で買い物をした

テレビ電話(ビデオ通話)サービスを利用した

1年以内に在宅勤務をした(有職者ベース)

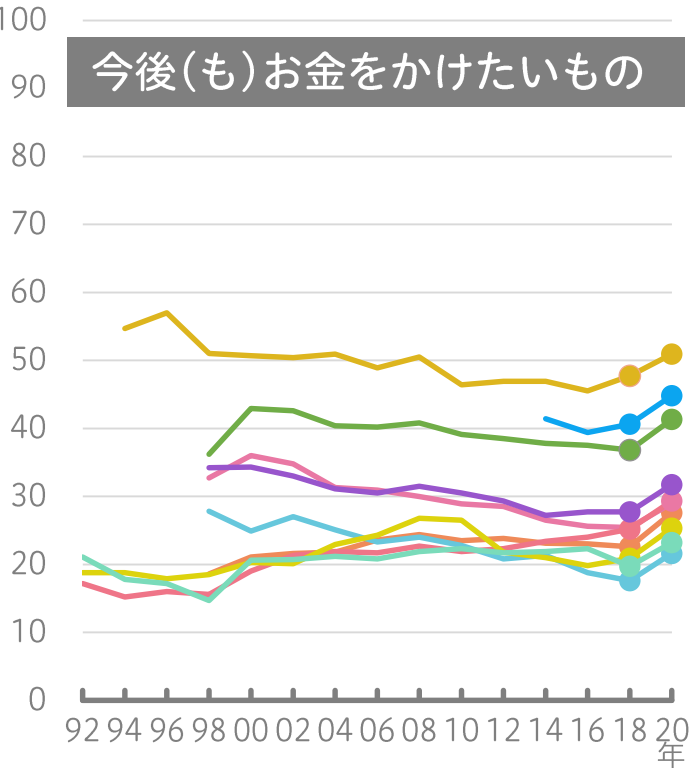
# ひとり志向の上昇



自由な時間はひとりですごしたい方だ  
ひとりですごす時間を増やしたい  
趣味や遊びは人と一緒にやるより  
ひとりでやる方が好きだ

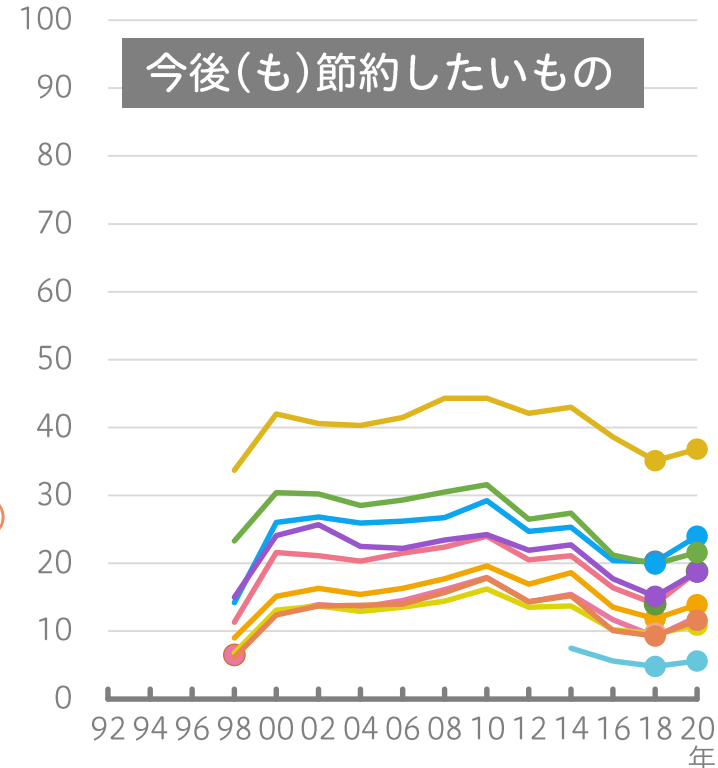
# お金のかけどころが個々バラバラに

## 今後(も)お金をかけたいもの



- 旅行
- 老後の暮らしの準備
- 趣味
- 健康・リラックス
- 外食
- 美容(散髪、エステなどを含む)
- 家電品
- 交際(飲食を含む)
- 内装・インテリアなど

## 今後(も)節約したいもの



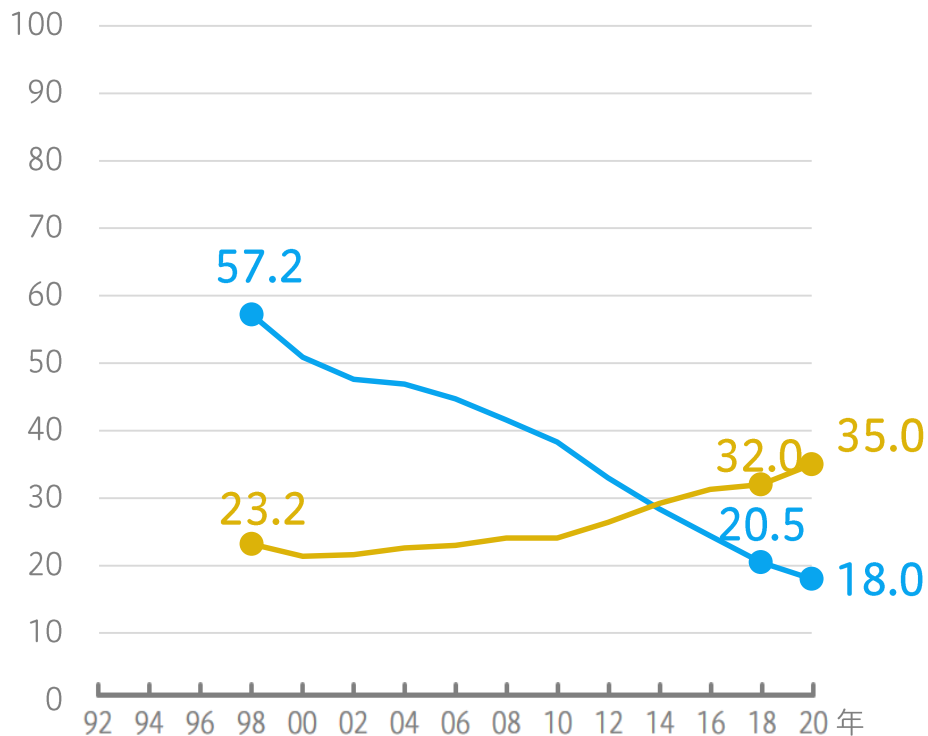
# 個人の変化

- ✓ リモートライフ到来
- ✓ ひとり志向の上昇
- ✓ お金のかけどころが個々バラバラに・・・



「わたし基準」による幸せの追求

# 友だち関係の再編成

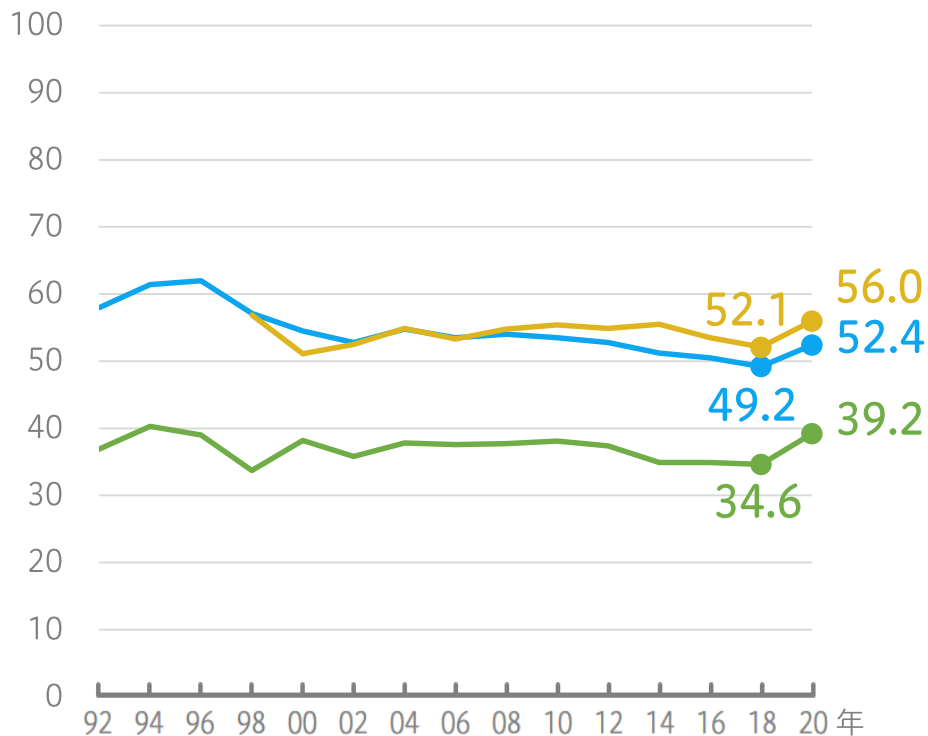


人づきあいは面倒くさいと思う

友人は多ければ多いほどよいと思う



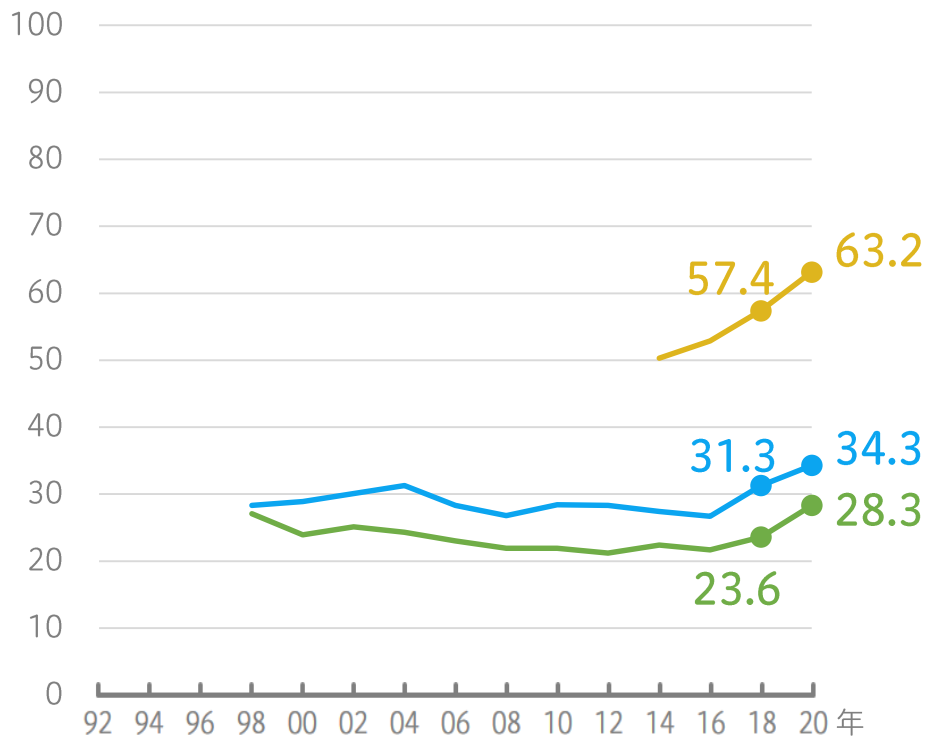
# 家族メンテナンスの強化



家族とよくおしゃべりする方だ  
円満な家族関係に満足している

家族の十分な話し合いに満足している

# 結婚観の自由化

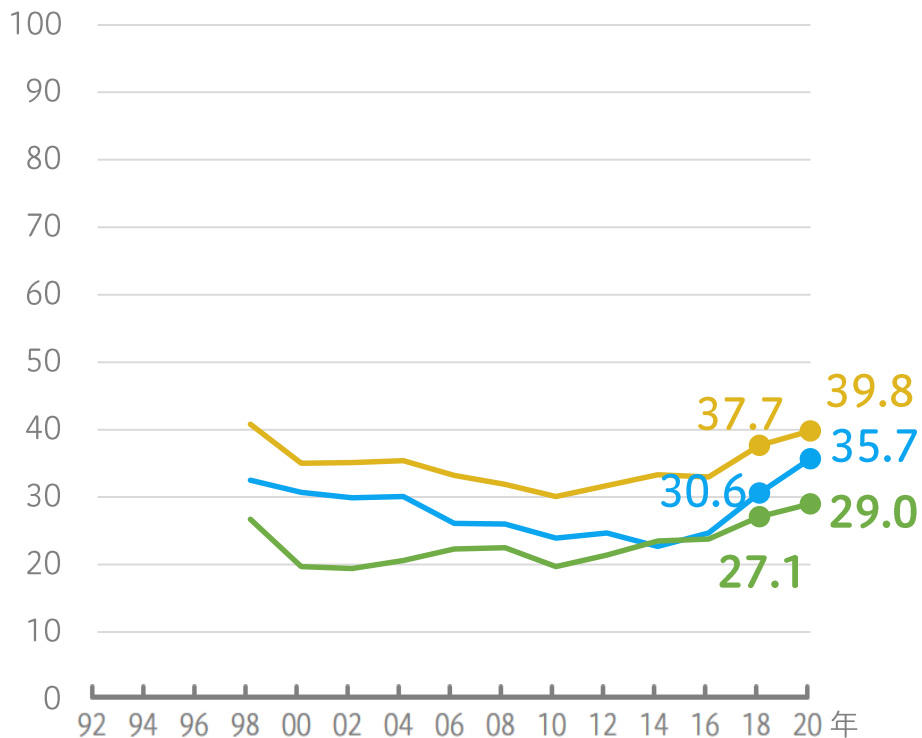


結婚して子供がいなくてもかまわないと思う

未婚で子供がいてもかまわないと思う

充実した人生のためには何度結婚してもかまわないと思う

# 働き方の個人裁量化



早めに出社しなくても  
始業時間に間にあえばかまわないと思う

仕事さえきちんとしていれば  
どんな服装でもよいと思う

終業後に予定がある時は  
急な仕事でも残業はしない方だ

# 関係の変化

- ✓ 友だち関係の再編成
- ✓ 家族メンテナンスの強化
- ✓ 結婚観の自由化
- ✓ 働き方の個人裁量化 …



人や社会との「関わり直し」

何も変わらない現実を受け容れ、社会と自分を切り離して小さな幸せを求めだした

## 「自足」の2010年代



コロナ禍で始まった 2020年代は—

環境の認識

「世の中は変わりうる」意識の覚醒

個人の変化

「わたし基準」による幸せの追求

関係の変化

人や社会との「関わり直し」



生活者のこれから

戻りたい

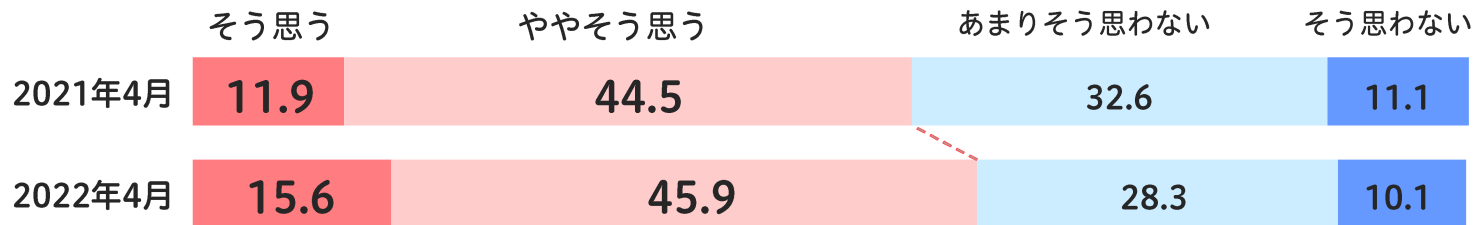
or

続けたい

(戻りたくない)

# 現在の生活スタイルの維持意向は6割強

今後、新型コロナウイルス感染への懸念がなくなったとしても、今の生活スタイルを維持したいですか？



## 今の生活スタイルを維持したい理由の上位5項目

※維持意向者ベース

- 1位 コロナに限らず感染症が心配だから 41.7%
- 2位 今の生活スタイルに慣れたから 33.0%
- 3位 自分の時間を充実させた生活ができるから 32.4%
- 4位 人とあまり会ったり関わったりしない生活が快適だから 29.6%
- 5位 時間を効率的に使えるから 28.6%



戻りたい or **選びたい** or 続けたい  
(戻りたくない)



選択肢が増える



生き方・暮らし方がより多様化する

生活者は、コロナ禍によって  
移動や交遊の“我慢”を強いられた。

その一方で

デジタル化やリモート化によって  
常識や慣習への“我慢”から解き放たれた。

“ひとり志向”と“慣習からの解放”で  
「すべき」「せねばならない」が減っていく



デジタル化/技術進化の加速で  
「できる」が増えていく



問われ始めるのは 個人の「したい」

# 2020年～の生活者潮流

2020年代は、上からの「改革」というよりも、  
生活者個々人が暮らしの中で小さな「実験」を繰り返し、  
社会を一つずつ上書きしていく—  
そんな時代になるのではないだろうか。

暮らし方を「実験」する時代へ



ご紹介した「生活定点」のデータは、生活総研webサイトにて無償提供中です。

<https://seikatsusoken.jp/>



ひらけ、みらい。



ご清聴ありがとうございました。